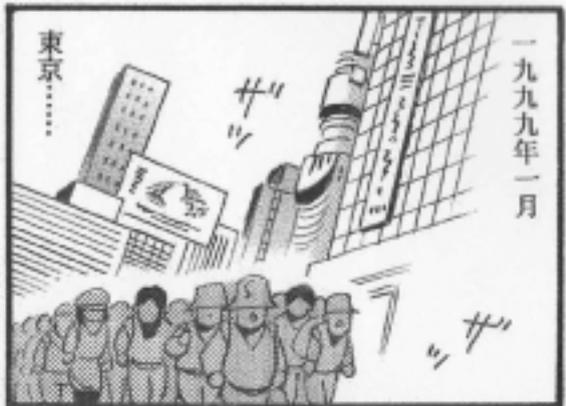


一九九九年一月



東京……

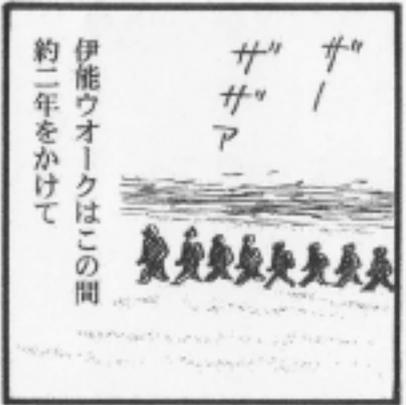


伊能隊の人々が  
最初の目的地  
にでました

札幌を目指して  
伊能ウオークの  
旅にでました



再び東京へ戻るのは  
二〇〇一年の元旦です



伊能ウオークはこの間  
約二年をかけて



東京—札幌間を  
第一ステージとして



第二ステージ  
青森—長野  
第三ステージ  
長野—大阪  
第四ステージ  
大阪—指宿  
第五ステージの  
東京—名護を  
最終とし

全国  
四十七都道府県  
(約八〇〇市町村)を  
徒歩で踏破しようとい  
う  
壮大な計画です

今から約二百年も昔  
徳川幕府の時代に



# 伊能忠敬

その人です

徒歩で日本中を測量し  
「日本地図」を作成した  
人物として教科書などで  
よく知られています



日本中をくまなく歩き  
偉大な業績を残した  
人物がいました

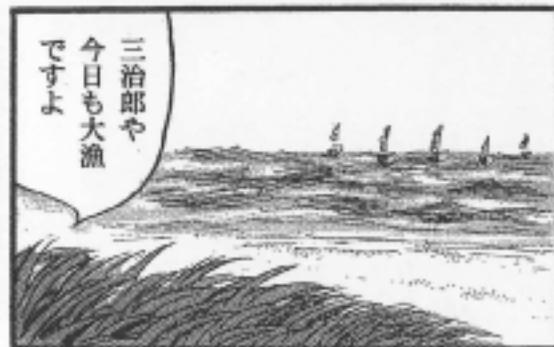
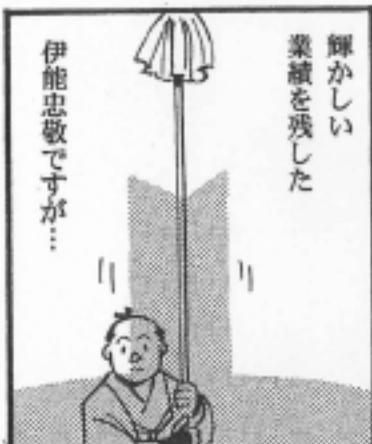
その人物  
とは……



伊能ウオークは  
この伊能忠敬の偉大な  
足跡をたどり  
その心意気に触れようと  
計画されました



そして今  
伊能ウオークは  
最終ステージを  
歩いており  
十月三十日の鳥取入りを  
目指し鳥取に近づきつつ  
あります





三治郎の  
幸せな時間は  
それほど長くは  
続きませんでした

……みんな  
兄妹力を  
合わせて  
仲良くね…



利左衛門殿  
子供たちの事  
お願いしまし  
たよ



わかったよ  
安心して  
おくれ…



おっ母さん！



その言葉を聞いて  
おっ母さんも安心だ  
頑張るんだよ  
三治郎……年…



おっ母  
さん

三治郎が  
六歳のとき…  
最愛の母との辛い  
「別れ」があった



三治郎  
や…



はい  
おっ母さん…



りっぱな  
商人に  
おなり…



三治郎…  
辛いことも  
辛抱して  
りっぱな商人に  
なるんだよ  
それが死んだ  
おっ母さんの  
望みでもあるんだ



三治郎…  
達者でな  
三治郎  
三治郎  
頑張れよ



おまえは  
頭のよい子だ…  
この小関の家を  
りっぱに守って  
いける

おっ母さんが  
今まで話して聞かせた  
ことを忘れず  
りっぱな商人に  
なっておくれ

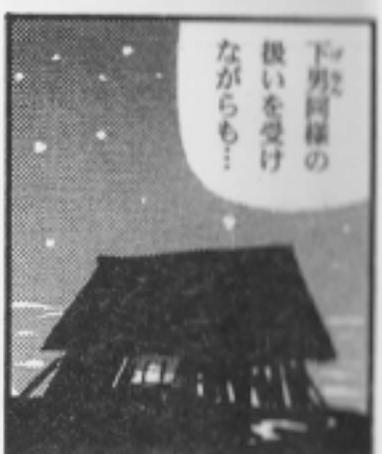
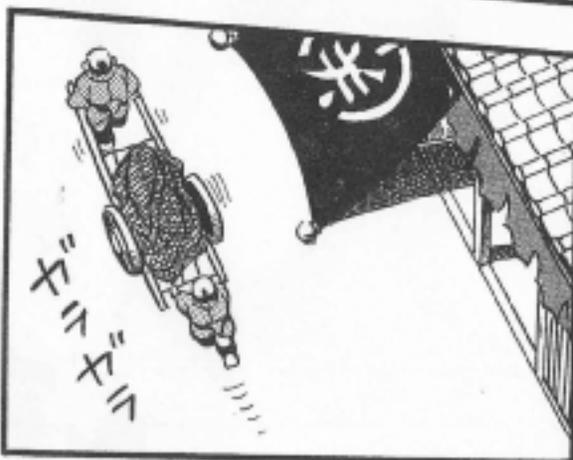


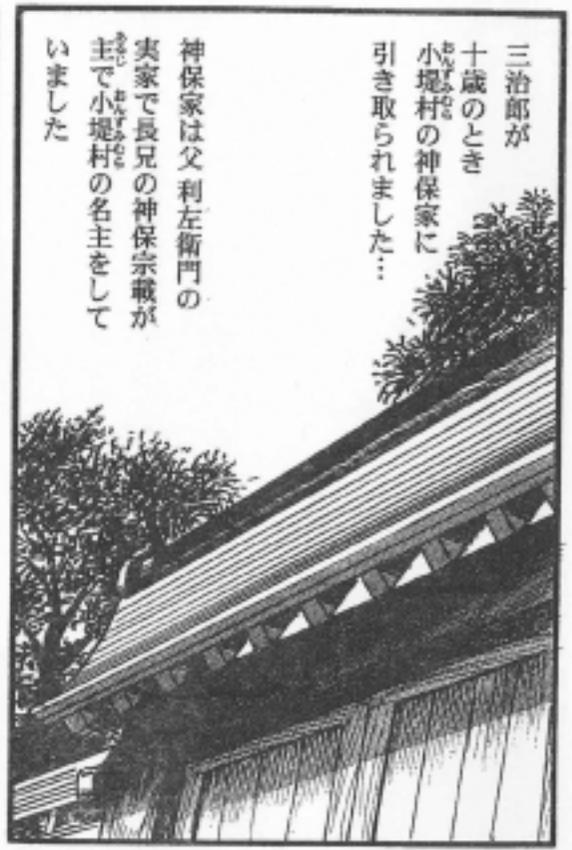
……うん  
おっ母さん  
おいらりっぱな  
商人になるよ



母の死後  
母の弟が小関の家を  
継ぐことになり  
父と兄と妹が父の故郷の  
小関村に返されたため…

ふたたび三治郎は  
母について父兄妹  
とも悲しい「別れ」を  
したのでした…





三治郎が  
十歳のとき  
小堀村の神保家に  
引き取られました…

神保家は父利左衛門の  
実家で長兄の神保宗載が  
主で小堀村の名主をして  
いました



そして  
父利左衛門は  
この神保家の  
居候でした…



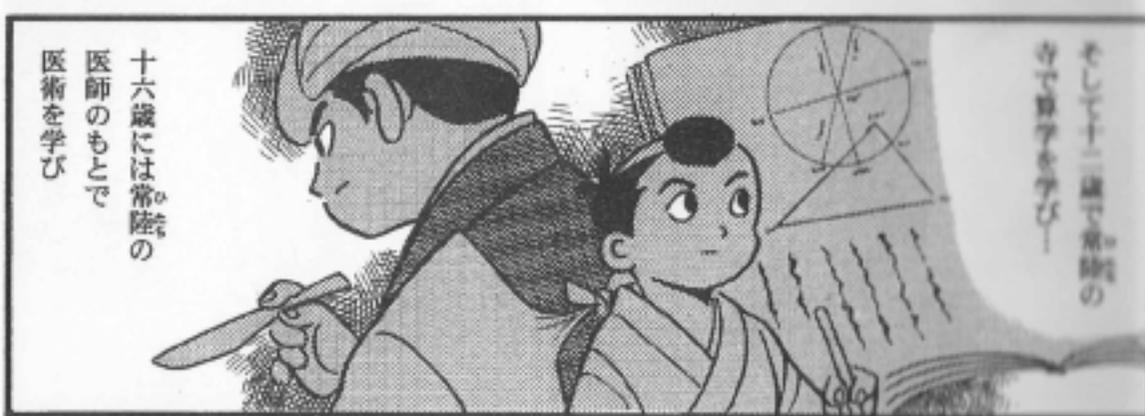
しかし間もなく  
利左衛門が分家をして  
塾を開くと…



三治郎は利左衛門から  
読み書きの手ほどきを  
うけました



兄さん  
三治郎です  
三治郎です  
三治郎です  
よろしく  
お願いします  
します



そして十二歳で常陸の  
寺で算学を学び

十六歳には常陸の  
医師のもとで  
医術を学び



おまえが  
三治郎か…  
またひとり  
やっかい者が  
ふえたわい



その天分の豊かさで  
周囲の人々を驚かせ  
ました



ははは…  
兄さん  
そんなア



父親が居候の身の  
ため…  
三治郎はごころでも  
肩身の狭い思いをする  
ことになります



しかし  
そんな三治郎にも  
恨みはありました

おっ母さん…



このままじゃ  
どんだん商人の道から  
はずれていって  
約束を守ることが  
できません

…いったい  
どうすれば  
よいのですか